

常任委員会

バリアフリー化で、高齢者や障がい者等の利便性が向上

総務委員会

小山 征三 委員長

所管事項のうち「苫小牧市バリアフリー基本構想(案)」では、交通結節点である駅や駅前広場を中心とするような範囲を「面」として、広がりをもったバリアフリー化を推進するため、「バリアフリー新法」による基本構想を策定したことが示されました。

また、「防火地域及び準防火地域の変更(案)」では、市街地の安全性と適正な区域を確認するため、火災延焼シミュレーションを実施し、適正な指定範囲の見直しを行ったことが明らかとなりました。今後は、都市計画審議会、北海道との協議を進めていくことが示されました。



まちなかのバリアフリー

「第2期苫小牧市地域福祉計画について」などを議論

厚生委員会

神山 哲太郎 委員長

付議事件の「アイヌ文化活動に関する陳情」では、類似した活動に対し助成した実績がないため、公平の観点から難しいとの意見が出されました。また、「介護報酬の再改定を求める要望意見書提出に関する陳情」では、介護報酬の改善はあったが、事業者の経営や物価の動向などを考慮すると、厳しい現実があるとの認識で各会派が一致しました。

所管事項では、「第2期苫小牧市地域福祉計画について」に議論が集中し、具体的な内容が乏しいなどの意見が相次いだ質疑となりました。



介護予防に気軽な体操

「教科書謝礼問題について」などを審議

文教経済委員会

矢嶋 翼 委員長

教科書会社が、検定中の教科書

を教員に見せて謝礼を渡していた「教科書謝礼問題」では、市内で計3社が教員に交通費として金銭を渡しており、個別に事実確認をして道教委に報告したと答弁がありました。

また、「苫小牧市観光振興ビジョン概要について」では、現在186万人の年間観光入込客数を平成34年までに250万人とする目標の説明があり、質疑で年次ごとにその達成度を検証すると答弁がありました。



透明性が求められる教科書検定

「緑の基本計画(案)概要版」について議論

建設委員会

竹田 秀泰 委員長

所管事項の「水道料金口座振替の推進」について、平成24年度からの加入キャンペーンの検証報告があり、「収納率の安定・向上には、口座振替制度が大きな役割がある」との報告がありました。

平成15年度に策定された「緑の基本計画」の改定案である「緑の基本計画(案)概要版」について、

地域のニーズに合わせて、従来の基本方針の一つ「緑をそだてる」を、「緑を活かす」に転換する旨の報告がありました。



緑あふれる街づくり

特別委員会

米軍再編に伴う米軍機訓練移転について質疑

総合開発特別委員会

金澤 俊 委員長

今委員会では、「米軍再編に伴う米軍機訓練移転について」、「平成28年度苫小牧港港湾整備事業予算及び平成27年苫小牧港の港勢について」の2件について報告を受けました。

このうち、1月12日、22日にかけて行われました「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する報告書(中間)」については、2名の委員が質問に立ち、市街地上空の飛行についてや訓練移転後の沖繩の負担軽減等について質疑を行いました。